

【子育て談話室】テーマ：「耐性」

世界中がコロナ感染症という未曾有の危機を乗り越えようとしている今、企業や行政、そして学校は新たな方策を模索し、それらの様々な試行は次世代に向けた新たな発見にも繋がっています。例えば、学校で言えばリモートを活用した集会や講話が当たり前のように行われるようになり、これまで対応に苦慮してきたインフルエンザ流行時の学校行事を新たな形態で実施するヒントを与えてくれました。つまり、人は「考える」という優れた能力を与えてもらっています。その考える能力は、自分の意図せぬ事態になったときにこそ発揮されるということなのかもしれません。子どもたちは、学校という模擬社会の中で、人との関わりや集団で生きることの術を学んでいます。友達との人間関係、先生との関わりは時として、自身の意にそぐわぬこともあるでしょう。そのような場面こそ、子どもたちが、自分の力で解決するために「考える」絶好のチャンスであるとも考えられます。困っていたり、悩んでいたりする我が子の姿を見るのは、親として苦しいことでしょう。しかし、困ったり悩んだりしている時だからこそ、自ら考え、耐性を身に付けている時だとも言えます。

今後更に、変化の激しい社会で生き抜かねばならない、最愛の子だからこそ、「耐性」を身に付けようと頑張る姿をそっと見守ることも大切なのではと思います。もちろん、状況によっては手を差し伸べることも必要ですが、...



◇生徒会役員選挙

令和3年度の生徒会役員を選出する「生徒会役員選挙」が12月18日（金）に行われました。14日（月）から登校時に体育館前や昇降口前で行われていた選挙運動のまとめとして、立候補者による立会演説会が6校時にありました。会長立候補者（9名）副会長立候補者（12名）、それぞれの演説からは、これからの真岡東中にとって夢と希望が大きく広がっていく未来を感じました。来年最上級生となる2年生は体育館にて、1・3年生はその映像を各教室にて視聴した後、全校生徒の投票です。密を避けるために各学年ごとに投票会場を設置し、学級代表の選挙管理委員の指示に従って、整然と投票が行われました。「この人に私たちの東中を任せてみたい」と願いを込めた大切な一票を投じました。



◇生き方講話

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でキャリア教育の一つである2年生のマイ・チャレンジ推進事業が実施できませんでした。2月に立志式を迎える2年生にとって、将来に向けた生き方を考え、今の自分を振り返ることはとても大切で、そのきっかけとなるよう生き方講話を行いました。「職業人から学ぶ」と題して、元ダンサー、美容師、保育士、心理士、薬剤師、サッカー指導者と様々な分野で活躍されている方々をお迎えしました。その職業に就くための方法や必要な資格、仕事していて楽しいことや辛いこと、中学生へのメッセージなどをいただきとても有意義な時間を過ごしました。その時感じた思いと決意を新たに、これからの学習や学校生活に生かしていくよう胸に刻んだことと思います。



◇全校一斉奉仕活動

木々の葉の色づきが例年よりも早く感じられ、校庭の落ち葉も風に舞っていました。そんな中、生徒会環境美化委員が中心となって全校一斉落ち葉掃きが行われました。生徒たちは1～5校時までの実力テスト終了後、冷たい西風に負けることなく、軍手をしながら竹箒や熊手を使ってたくさん落ち葉を集めました。収集用の袋に入りきれず、ポリのゴミ袋がいっぱいになるまで、真剣に取り組んでいました。いつも使っている自分たちの学校をよりきれいに、より美しく。活動が終了した後のすがすがしい笑顔は、感謝の気持ちに満ち足りていました。



◇年末の交通安全立哨指導

12月11日から31日までの21日間、年末の交通安全県民総ぐるみ運動となっております。本校では、PTA厚生委員会みなさんにご協力をいただき、通学路3箇所にて朝の立哨指導を行っています。お忙しいところ、また寒い中、保護者の皆様には感謝申し上げます。さらには、年間を通して子どもたちを見守ってくださっている交通指導員の方から「元気なあいさつができる東中生」と、お褒めの言葉をいただきうれしい限りです。

※校庭放射線量 0.069マイクロシーベルト（校庭5箇所の平均）12/18測定



左記は、本校ホームページのQRコードです。行事の予定や日頃の生徒たちの様子を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

また、お子様のことでご心配やご相談等がありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。基本的に教頭（大平）が対応させていただきます。